

十和田市 社協だより

目 次

- ・表紙（十和田市総合防災訓練）…………… 1
- ・令和7年度事業計画・予算…………… 2
- ・令和6年度事業報告・決算報告…………… 3
- ・令和6年度 法人会員の紹介…………… 4
- ・社協ダイアリー（行事紹介）
しゃきょう情報ひろば…………… 5
- ・赤い羽根共同募金…………… 6

令和7年7月発行 第137号

（写真）「本日はご参加ありがとうございます。」「熱や体の不調はありませんか。」と声をかけ、登録簿を記入してもらう受付役のボランティア。

受付などの対応を確認

災害ボランティアセンター設置訓練

5月29日（木）、十和田市総合防災訓練が開催され、民生委員児童委員や災害登録ボランティア、福祉教育インストラクターの協力のもと、第一中学校で災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。

十和田市社会福祉協議会は十和田市と災害時におけるボランティア活動等に関する協定を結び、災害発生後の被災者支援にあたります。訓練では、ボランティア活動希望者の受付や活動場所への派遣調整の流れを確認しました。

災害発生時の多様なニーズへの対応に向け、平時からの備えが大切であることを再確認しました。



派遣調整訓練の様子
参加者は数人のチームになり、リーダーを決めて活動場所に出発します



一輪車を使い、がれきの撤去を体験

令和7年度十和田市社会福祉協議会事業計画

基本方針

令和7年度は、3つの基本目標「環境づくり」「地域づくり」「人づくり」のもと、全27事業を実施します。
コロナ禍を含む社会変化を経て、社会の動きが活発になる一方で、大規模災害や物価の高騰などの影響により、不安定な日常生活が続いています。
このような中、経済的に困窮している世帯や高齢者世帯、子育て世帯への支援等、社会変化の中で顕在化した様々な課題は多様であり、地域福祉活動の推進はより大きく求められています。
このような状況を踏まえ、住民の地域福祉活動への理解と共感が一層深まり、「人と人の支え合い、つながりのある地域づくり」の充実を図るための事業を展開します。

重点項目

1. 環境づくりの推進（11事業）

～誰もが安心して福祉サービスを利用できる環境づくり～

低所得、生活困窮者からの相談に応じ、資金の貸付や食料品の提供等の支援を行うとともに、福祉分野に限らず、各関係機関への情報提供・共有により、社会的に孤立することのない環境づくりを目指します。



3. 人づくりの推進（5事業）

～地域で福祉を支える人づくり～

地域の福祉活動をより一層推進するため、豊かな知識と経験を持つ人材の活用にも努めるとともに、ボランティア等の人材を育成します。

児童・生徒が福祉体験学習等を通して、福祉への関心を高め、社会の中で、思いやり、支え合う人材の育成に努めます。



2. 地域づくりの推進（11事業）

～共に支え合う地域づくり～

住民一人ひとりが福祉に対する理解を深め、支え合い・つながりを大切にする意識を高めて、子どもから高齢者、また、障がい者が安心して暮らせる地域づくりを推進します。



4. 組織基盤の強化

地域福祉活動財源に持続性を得るよう、あらゆる機会に、会費・赤い羽根共同募金に対する感謝のロゴを活用します。また、イベント・研修会開催時には、PR旗を掲げ、地域福祉活動の必要性の理解浸透を図ります。

令和7年度 予算

資金収支予算書（単位：円）

収 入		支 出	
会費収入	4,950,000	人件費支出	66,162,000
寄附金収入	360,000	事業費支出	9,602,000
事業収入	1,600,000	事務費支出	9,803,000
経常経費補助金収入	51,243,000	貸付事業支出	1,500,000
助成金収入	210,000	共同募金配分金事業支出	150,000
受託金収入	17,700,000	助成金支出	2,350,000
貸付事業等収入	1,500,000	負担金支出	350,000
共同募金配分金収入	5,330,000	固定資産取得支出	200,000
負担金収入	820,000	基金積立資産支出	1,210,000
受取利息配当金収入	864,000	積立資産支出	1,001,000
その他の収入	50,000	サービス区分間繰入金支出	4,287,000
積立資産取崩収入	90,000	予備費支出	500,000
基金積立資産取崩収入	4,287,000	当期末支払資金残高	33,415,508
サービス区分間繰入金収入	4,287,000		
前期末支払資金残高	37,239,508		
合 計	130,530,508	合 計	130,530,508



～社協会費へのご協力をお願いします～

十和田市社会福祉協議会は、「住民が支え合い、誰もがその人らしく健やかで安心して暮らせる とわだ」を目指し、地域福祉推進のための様々な事業活動を行っています。

昭和28年創設の十和田市社協は、住民の皆さまの会費を、各町内会を通じてご協力いただいております。深く感謝申し上げます。

皆さまの会費は、社協の活動にご賛同いただく大切なお気持ちと受け止め、全ての事業に有効に活用させていただきます。

令和6年度十和田市社会福祉協議会事業報告

環境づくりの推進

●ふれあい相談所事業	●開設日数 246日	●相談件数 154件
●広報・啓発事業	●社協だよりの発行 3回	●ホームページ、Facebook、Instagramによる情報提供
●生活福祉資金貸付事業	●貸付相談件数 9件	●償還相談件数 20件
●たすけあい資金貸付事業	●貸付件数 89件（貸付総額 1,515,000円）	●相談件数 135件
●日常生活用具貸出事業	●介護用ベッド 10件	●車イス 長期 8件 短期 29件
●福祉安心電話サービス事業	●設置世帯数 15世帯	●協力員数 29人
●日常生活自立支援事業	●契約締結件数 36件	●相談件数 1,783件
●成年後見事業	●実受任件数 7件	●実利用者数 114人
●福祉サービス苦情解決第三者委員設置事業	●苦情解決窓口を設置した	
●フードバンク・サポート事業	●支援件数 256件	
●障がい者生活情報誌発行事業	●「カラフル」の発行部数 400部	



地域づくりの推進

●夏休み寺子屋事業	●東小学区 参加者数 延べ125人（児童 66人、ボランティア 59人）	●南小学区 参加者数 延べ158人（児童 112人、ボランティア 46人）
●高齢者健康体力維持支援事業	●研修会実施回数 2回	●参加者数 71人
●ふれあい・いきいきサロン事業	●総実施数 32地区	●総参加者数 延べ6,232人
●元気世代ネットワーク構成員の集い事業	●交流会参加者数 111人（サロン22地区）	●開催回数 延べ543回
●地域福祉ほのぼの交流事業	●利用者数 4人	●協力員数 4人
●ゆめ色フェスティバル事業	●参加者数 280人	●出演・出展団体 15団体
●手話を学ぶ機会の提供事業	●講習会参加者数 延べ81人（全8回開催）	
●十和田市社会福祉大会事業	●参加者数 300人	
●十和田市生活支援体制整備事業	●地域づくり講座参加者数 82人	●情報誌「ぐれっと」の発行 4,000部
●発達障がい理解の事業	●受講児童数 56人（小学校1校で開催）	
●子育て支援事業	●実施回数 2回（春期、秋期）	●連携法人数 12法人
●「みんなのクローゼット&親子ふれあい縁日」	●出品提供数 1,611点	●来場者数 391人

人づくりの推進

●福祉教育推進及びインストラクター活動事業	●総件数 25件	●総受講者数 801人	●総活動インストラクター数 延べ131人
●ほんわかハート展事業	●応募総数 801点（全25校）	●入選者数 170人	
●中学生ボランティアスクール事業	●参加者数 10人（2日間開催）		
●福祉教育インストラクター養成派遣事業	●参加者数 8人		
●お話しボランティア派遣事業	●活動登録者数 21人	●利用登録者数 2人	
●ボランティア・市民活動事業	●ボランティア保険加入件数 103件（5,342人）	●ボランティア幹旋件数 13件	
	●ボランティア団体育成のための助成を行った		
	●災害救援ボランティア活動研修事業参加者数 46人		



会務の運営

●理事会 4回 ●評議員会 3回 ●監査会 3回 ●評議員選任委員会 1回

令和6年度 決算報告

資金収支計算書（単位：円）

収 入		支 出	
会費収入	4,591,650	人件費支出	59,381,580
寄附金収入	747,691	事業費支出	8,868,475
事業収入	1,560,000	事務費支出	8,191,660
経常経費補助金収入	48,056,000	貸付事業支出	1,515,000
助成金収入	201,500	共同募金配分金事業支出	150,000
受託金収入	17,806,760	経常経費補助金支出	5,389,497
貸付事業収入	1,421,650	助成金支出	1,554,800
共同募金配分金収入	4,560,000	負担金支出	217,989
負担金収入	876,500	固定資産取得支出	0
受取利息配当金収入	1,012,367	基金積立資産支出	2,296,889
その他の収入	26,720	積立資産支出	2,000,679
基金積立資産取崩収入	4,350,000	サービス区分間繰入金支出	4,915,200
積立資産取崩収入	73,400	予備費支出	0
サービス区分間繰入金収入	4,915,200	当期末支払資金残高	36,853,716
前期末支払資金残高	41,136,047		
合 計	131,335,485	合 計	131,335,485

貸借対照表（単位：円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	38,839,212	流動負債	1,985,496
普通預金	38,695,229	事業未払金	1,064,381
事業未収金	119,000	その他の未払金	679,940
その他の未収金	24,983	預り金	241,175
固定資産	175,391,536	固定負債	18,627,519
基本財産	3,300,000	退職給付引当金	18,627,519
基本財産特定預金	3,300,000	負債の部合計	20,613,015
その他の固定資産	172,091,536	純資産の部	
車輜運搬具	1,526,374	基本金	3,300,000
器具及び備品	6	基本金	3,300,000
投資有価証券	100,003,680	基金	143,767,337
福祉基金積立金支出	43,763,657	福祉基金	143,767,337
たすけあい資金貸付金	1,900,300	国庫補助金等特別積立金	0
退職給付引当資産	18,627,519	国庫補助金等特別積立金	0
備品等購入積立資産	6,270,000	その他の積立金	6,270,000
		備品等購入積立金	6,270,000
		次期繰越活動増減差額	40,280,396
		次期繰越活動増減差額	40,280,396
		（うち当期活動増減差額）	△ 3,807,468
		純資産の部合計	193,617,733
資産の部合計	214,230,748	負債及び純資産の部合計	214,230,748

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金は、地域住民が互いに支え合い、地域社会をより良くするための仕組みです。募金を通じて、誰もが安心して暮らせる地域づくりに参加することができます。



災害時にも赤い羽根共同募金は活用されています

赤い羽根共同募金は大規模な自然災害などが発生した際に、迅速かつ的確な支援を行うことを目的に、全国の都道府県共同募金会が募金の一部を積み立てる『災害等準備金』制度を設けています。

令和6年能登半島地震では、石川県・富山県におけるボランティア活動を支援するため、全国の都道府県共同募金会から2県に対して、災害等準備金を拠出しました。皆さまにご協力いただいている募金から積み立てられる『災害等準備金』が、被災地でのボランティア活動を支えています。



赤い羽根共同募金の疑問にお答えします

Q 赤い羽根共同募金はいつから始まったの？



A

今から70年以上前の1947(昭和22)年に始まりました。戦争が終わり、たくさんの人たちが苦しんでいるなか、「困ったときはお互いさま」の気持ちから赤い羽根共同募金が始まりました。募金は、戦争により住まいを焼かれたり、親を亡くした孤児たちの支援に多く使われました。

Q 赤い羽根共同募金の羽根はどうして赤色なの？



A

「赤い羽根」は、勇気と良い行いのシンボルだからです。アメリカの先住民族は、いろいろな色の羽根飾りを頭などにつけていましたが、羽根には色によって意味がありました。勇気のある行いや、良いことをした人が、「赤い羽根」をつけていたと言われています。



街頭募金ボランティア募集中！

10月に市内各所で行う赤い羽根共同募金の街頭募金運動に参加しませんか？皆さまのあたたかい協力が、地域の福祉向上に大きくつながります。

【募集対象】 市内企業、団体、学校

【内 容】 街頭募金運動

【お問い合わせ・お申込み先】

十和田市共同募金委員会(十和田市社会福祉協議会内)

電話:0176-23-2992

8月22日(金)までにお申込みください

社会貢献
活動

ご協力
よろしくお願いします



お気軽にお問い合わせください

十和田市
共同募金委員会

皆さまのあたたかいご協力を
感謝申し上げます
今後ともご支援ご協力を
よろしくお願い申し上げます

みんなの募金で
福祉をつくり支える



十和田市共同募金委員会

住 所 〒034-0011 十和田市稲生町18-33 市民交流プラザ内

電 話 0176-23-2992

E-mail towadashikyoubu@towada-shakyo.or.jp

